

令和5年3月

# 福生Farmer

- 農業委員会だより -

発行  
福生市農業委員会

## 農業体験学習 ~食育の推進~

福生市農業委員会では、食育の推進を目的とし、市内小学校において、特産物である落花生の栽培などの農業体験学習に協力しております。今年度も福生第一小学校の落花生を題材とした総合的な学習の時間の授業で『作付けから収穫』『美味しい食べ方』『はっ！ピー☆ナッツ』等について説明しました。

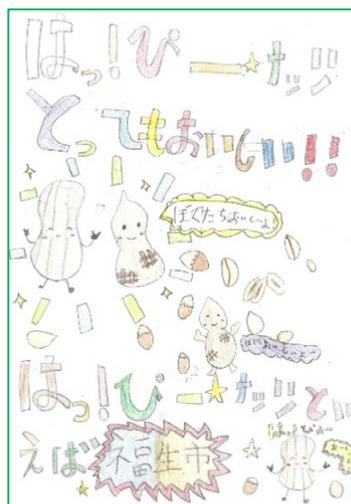
お礼に素敵なポスターを描いていただき、短い期間でしたが、JAにしたま福生支店直売所ともくせい会館の2か所に掲出させていただきました。

今後も農業委員会では、地域の農家と連携し食育の推進を図ってまいります。

授業中の様子



福生市のはっ！ピー☆ナッツ



収穫中の様子



はっ！ピー☆ナッツ

# 受賞おめでとうございます

令和5年2月16日（木）、J:COMホール八王子にて第64回東京都農業委員会・農業者大会が開催されました。新型コロナウイルス感染症の影響により2年ぶりの開催となりました。

大会では、東京農業の確立に関する要望などについて協議しました。

また、大会の席上では第49回農業委員会等功労者表彰（令和4年度農業功労者感謝状）を石内章弘氏が受賞されました。

農業委員会一同、心よりお祝い申し上げます。



上段：石内氏

下段：左から

東京都農業会議副会長

（町田市農業委員会会長）吉川 庄衛 様

東京都知事

小池 百合子 様

東京都農業会議会長

青山 侑 様



左から吉澤委員、木下委員、細谷委員  
石内氏、小山会長、村野委員、古谷職代

## 石内 章弘 氏

第49回農業委員会等農業者功労（令和4年度農業功労者感謝状）を受賞

※農業功労者感謝状は、地域農業の振興に尽力されてきた農業者に感謝の意を表するため、その功労に対し感謝状を贈られるものです。

# 花いっぱい運動～秋の植栽～

秋の花いっぱい運動が実施され、市内農業者団体の『グリーンクラブ福生』の皆さんが育てた、パンジー・ピオラ・葉ボタンが市内各所に配布され、まちを彩りました。まもなく、春の花いっぱい運動の準備も始まります！



福生野球場にて撮影

## 特定生産緑地の指定状況について

特定生産緑地制度は、生産緑地の指定告示から30年を迎える前に指定することで、固定資産税の農地課税について、現行の生産緑地制度が継続されるとともに、買取申出の開始時期を10年間延長することができる制度です。また、特定生産緑地は10年ごとに更新が可能です。30年経過した生産緑地（平成4年指定分）についてお知らせいたします。

＜令和4年11月20日指定＞（平成4年11月20日指定より30年経過）

特定生産緑地指定箇所：31箇所（平成4年当初 48箇所）

特定生産緑地面積：約4.24ha（平成4年当初 6.60ha）

## 農地パトロールを実施します！！

今年度は、**令和5年10月中旬頃**に市内生産緑地を対象とした農地パトロールを実施します。生産緑地法では、「**農地を適正に管理すること**」と規定されており、不耕作が続くと違反状態となります。

特に相続税納税猶予適用農地をお持ちの方は、適切に管理されていないと判断された場合、相続税納税猶予が打ち切りになってしまうなど税制上の優遇を受けられなくなる恐れがあります。

今後も農地の適切な管理をお願いいたします。



## 全国農業新聞のご案内

全国農業新聞は、農業及び農政の現状を中心に、農業者の経営と暮らしに役立つ情報が掲載されています。毎週1回（月4回）の発行です。

＜購読料＞

1か月／700円

＜申込み＞

担当農業委員もしくは農業委員会事務局へお問い合わせください。

＜全国農業新聞ホームページ＞

<https://www.nca.or.jp/shinbun/>



## 農業者年金のご案内

農業者年金は、国民年金に上乗せした公的な年金制度です。任意脱退が可能で、60歳になる前月まで、何度でも再加入することができます。

＜加入対象者＞

- 国民年金第1号被保険者である
- 年間60日以上農業に従事している
- 20歳以上60歳未満である

詳しくは、農業委員会事務局へ。

＜農業者年金ホームページ＞

<https://www.nounen.go.jp>



# 東京都 GAP のご案内

東京都では、持続可能な農業生産と地産地消を推進するため、平成 30 年 4 月より、農林水産省の「GAP ガイドライン」に準拠し、都市農業の特徴を反映した東京都 GAP を推進しています。

GAP（ギャップ）とは、「Good（良い）Agricultural（農業）を Practice（実践）する」の略ですが、一般的には、「農業生産工程管理」と呼ばれ、農業において、食品安全、環境保全、労働安全等の持続可能性を確保するための取組をいいます。  
また、GAP 認証を取得することにより、販売先からの信頼性向上などが期待されます。

GAP に取組むことにより、農業者に以下のメリットがあります。

○農業経営の改善、効率化 ○農作業事故の防止 ○農産物の品質向上

東京都 GAP 認証番号 022

村のやさい



東京都 GAP 市内唯一の認定者  
村のやさい（村野正さん）

## Q1 GAPに取り組んだきっかけ

東京オリンピック・パラリンピックに食材を供給したいと思い認証取得しました。また、学校給食に食材を出しているため、生徒や先生、保護者の方々に本当に安心してもらえるように考えたのも理由の一つです。

## Q2 苦労や改善点など

整理整頓や記録の管理が初めは大変でしたが、整理が行き届くと物を探す時間も減り、アルバイトさんとの連携もよくなって、作業効率が上がりました。記録をマメに取るようになったので、遡って情報の確認ができるようになったのも良かった点だと思います。

## Q3 私のこだわり

地域の子ども達にサッカーのコーチをしており、その子ども達が食べる給食の野菜を作っているので「給食で出た野菜美味しかった？」と話ができるのがとても嬉しいです。職場体験や農業体験を通して学校の授業に積極的に協力しており、子ども達に食の大切さを伝えていきたいと思っています。

引用：<https://tokyogrown.jp/learning/agriculture/gap/detail?id=786246>

公益財団法人 東京都農林水産振興財団 HP（TOKYO GROWN）より

## 令和5年度の 主な行事予定

農業委員会では、来年度も様々な行事を予定しています。特に市内農産物の直売は、多くの方々に大好評です！農業者の方々の出品や参加をお待ちしております。（新型コロナウイルスの影響等により、内容の変更や中止となる可能性もございます。）

日程	行事名など	内容
6月中旬	農業者研修	市内農業者を対象に研修を行います。
9月上旬	福生 Farmer 発行	
9月 25 日（月）	落花生祭り	直売所にて落花生の販売を実施
9月下旬から 10月上旬	農地ウォーク	市民の方々を対象に収穫体験を実施
10月中旬	農地パトロール	市内全生産緑地のパトロールを実施
11月 12 日（日）	第 39 回農産物共進会	市内農産物の直売を実施
3月上旬	福生 Farmer 発行	

～お気軽にお問い合わせください～

福生市農業委員会事務局（福生市生活環境部シティセールス推進課内）

電話：042-551-1699 F A X：042-553-7500 メール：f-sinkou@city.fussa.lg.jp